

教育目標『ふるさとを愛し 自ら考え たくましく生きる児童の育成』

～思いやりのある子・進んで学ぶ子・たくましい子～



松小だより

令和7年1月8日(水)

学校通信 第42号

発行 学校長

電話 027-393-1521

※個人情報の取扱にご留意ください。

〈松井田小ホームページ <http://www.annaka.ed.jp/shin-matsuida/>〉



3学期がスタートしました！

あけましておめでとうございます。旧年中、保護者の皆様には、学校行事、校外学習など大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いたします。



14日間の冬季休業が終わりました。この間、お子様は、除夜の鐘、門松、初詣、餅つき、雑煮、鏡餅、お節料理、凧揚げ、羽根つき、コマ回し…そして、お年玉!?など、日本の伝統文化や行事にたくさん触れることができたのではないかと思います。

昨日1月7日(火)3学期始業式では、新たな希望を胸に抱き集まった全校児童の姿がありました。新年最初の校歌斉唱に続いて、各学年代表6名の児童が3学期に頑張りたいことを力強く発表してくれました。(下記表参照)

続いて、校長講話では、まず、一枚の紙は簡単に破れるけれど、365枚重ねた紙は手の力だけでは簡単に破ることができないことを、スクール・サポート・スタッフに実演していただきました。そして、学習や運動など毎日の積み重ねが大切であること、何か一つでも毎日、毎週、継続することができたら大きな自信となり困難に立ち向かう力になることを伝えました。今年は巳年。全校児童には、蛇のようにしつこく粘り強く学習や運動に取り組み、脱皮する蛇のように一皮むけたと感じられる一年にしてほしいと思います。今学期も、すべての児童のファースト・ペンギン・スピリットを、教職員全員で応援します。

3学期にがんばりたいこと (各学年代表児童の発表から)

| 学年 | 児童名 | 発表内容 |
|----|----------|------------------------------------|
| 1年 | 〇〇 〇〇 さん | 漢字や英語の色をたくさん覚えたい。友達や6年生と仲良く遊びたい。 |
| 2年 | 〇〇〇〇〇 さん | 算数を頑張りたい。計算を速くできるように練習したい。 |
| 3年 | 〇〇 〇〇 さん | いろんな教科のテストを頑張りたい。 |
| 4年 | 〇〇 〇〇 さん | テストで90点以上を目指したい。あや跳び、交差跳びがうまくなりたい。 |
| 5年 | 〇〇 〇〇 さん | 自主勉強をして、算数テストの点数をあげたい。 |
| 6年 | 〇〇 〇〇 さん | 低学年は卒業式に出られないので、その分一緒に楽しく遊びたい。 |

校時表の一部変更について (1・2年生)



昨年12月23日に通知したとおり、3学期から1・2年生の水曜日の校時表が変更となりました。本校では、年度当初より国の定める一年間の標準授業時数の確保を見通して計画してきました。担任からも説明はしていますが、お子様から質問があった際は、「3か月後の進級に備えて、週に1時間勉強する時間が増えることになるよ」とお話してください。これに伴い、下校時刻やスクール・バスの運行時刻も変更となりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、本校ホームページにも新しい校時表を掲載しましたので参考にしてください。

| 学年 | 変更後 (3学期) 水曜日 | | | 変更前 (1・2学期) 水曜日 | |
|-----|---------------|-------|----------|-----------------|-------|
| | 最終校時 | 下校時刻 | S.B 出発時刻 | 最終校時 | 下校時刻 |
| 1年生 | 5校時まで | 14:35 | 14:50発 | 4校時まで | 13:25 |
| 2年生 | 6校時まで | 15:45 | 16:00発 | 5校時まで | 14:35 |

始業式 校内表彰 (伝達)

受賞した児童のみなさん、おめでとうございます!!

| No. | 大会名・種目等 | 成績 | 学年 | 児童名 |
|----------------|-----------------------|-----------|-------|-------|
| 1 | 第74回社会を明るくする運動作文コンテスト | 前橋保護観察所長賞 | 6年 | 〇〇 〇〇 |
| 2 | 第10回前橋ジュニア陸上教室記録会 | | | |
| | 女子小学高学年 4×100mR | 第4位 | 5年 | 〇〇〇〇〇 |
| | | | 6年 | 〇〇 〇〇 |
| | | | 6年 | 〇〇 〇〇 |
| | 男子小学高学年 4×100mR | 第4位 | 6年 | 〇〇 〇〇 |
| | 女子小学5年 コンバインドC | 第2位 | 5年 | 〇〇〇〇〇 |
| 女子小学6年 コンバインドC | 第6位 | 6年 | 〇〇 〇〇 | |
| 男子小学6年 コンバインドC | 第8位 | 6年 | 〇〇 〇〇 | |



第2回まちかどギャラリー 作品展示のご案内



展示期間 令和7年1月18日(土)～3月15日(土)

| 学年 | 児童名 | 1/18(土)～3/15(土) | | 展示場所 |
|----|-----|-----------------|----|-------------|
| | | 絵画 | 習字 | |
| 1年 | | ○ | | トータル寝具 おおのや |
| 5年 | | ○ | | |
| 6年 | | ○ | | |
| 3年 | | ○ | | 吉田屋 和洋菓子店 |
| 6年 | | ○ | | |
| 1年 | | ○ | | 日新堂 |
| 4年 | | | ○ | |
| 5年 | | ○ | | |
| 6年 | | ○ | | シューワールド ヨシダ |
| 3年 | | ○ | | |
| 4年 | | ○ | | |
| 5年 | | ○ | | 三文字屋 |
| 6年 | | ○ | | |
| 1年 | | ○ | | |
| 4年 | | ○ | | 古久屋 |
| 5年 | | ○ | | |
| 1年 | | ○ | | |
| 2年 | | ○ | | 小栗燃料店 |
| 4年 | | | ○ | |
| 3年 | | ○ | | |
| 4年 | | ○ | | ハート スプリング |
| 1年 | | ○ | | |
| 3年 | | ○ | | |
| 2年 | | ○ | | 肉のてんじん |
| 4年 | | | ○ | |
| 5年 | | ○ | | |
| 6年 | | ○ | | |

| 学年 | 児童名 | 1/18(土)～3/15(土) | | 展示場所 |
|----|-----|-----------------|----|-------------------|
| | | 絵画 | 習字 | |
| 5年 | | ○ | | アメリカン ベーカーリー |
| 6年 | | ○ | | |
| 2年 | | ○ | | 臼井地区 生涯学習 センター |
| 3年 | | ○ | | |
| 6年 | | ○ | | |
| 2年 | | ○ | | 坂本・入牧地区 生涯学習 センター |
| 3年 | | ○ | | |
| 4年 | | | ○ | |
| 6年 | | ○ | | 鉄道文化むら |
| 1年 | | ○ | | |
| 2年 | | ○ | | |
| 3年 | | ○ | | |
| 4年 | | ○ | | 九十九 ギャラリー 旧金子屋商店 |
| 5年 | | ○ | | |
| 6年 | | ○ | | |
| 1年 | | ○ | | |
| 2年 | | ○ | | |
| 3年 | | ○ | | |
| 4年 | | ○ | | 九十九地区 生涯学習 センター |
| 5年 | | ○ | | |
| 6年 | | ○ | | |
| 1年 | | ○ | | |
| 2年 | | ○ | | |
| 3年 | | ○ | | |
| 3年 | | ○ | | |

町内15か所の商店や公共施設等にご協力をいただき、児童の作品を展示します。本年度2回目となり、第1回出品者以外の53名の児童の作品が対象となります。本校ホームページにも出品者と出品場所一覧を掲載しました。閲覧する場合は、本年度共通パスワードを入力してください。お時間がありましたらお誘いあわせの上、ぜひお出かけください。

これまで地域の皆様のご協力を得て、連携しながら教育活動を進めてきました。一方、学校で児童が培った力を地域に還元していくことも、「地域とともにある学校づくり」では大切であると考えています。本事業では、地域への児童の作品展示をとおして、地域に愛される学校、信頼される学校づくりを目指すとともに、地域からの学校への関心を高め、児童が地域の一員としてふるさと松井田町に対する愛着を深めることができるようにしたいと考えています。

赤い羽根募金 10,323 円

ご協力ありがとうございました!

昨年12月23日(月)に、企画委員3名(4年〇〇〇〇〇〇さん、5年〇〇〇〇〇〇さん、6年〇〇〇〇〇〇さん)が社会福祉協議会(松井田支所)を訪れ、皆様からお預かりしました募金を届けてきました。共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まり、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、現在の「社会福祉法」に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきたそうです。社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「自分の町をよくするしくみ」として取り組まれているとのことです。(赤い羽根共同募金ホームページより引用)

